

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2023-004
2.研究課題名	容器およびラベルが飲料の嗜好性に与える影響
3.研究期間	令和4年 9月（倫理委員会承認後）～ 令和6年3月31日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 本研究は、容器の外観評価、中身の嗜好性と評価時の脳血流の関連について解析することにより、容器およびラベルが飲料の嗜好性に与える影響を明らかにすることを目的としている。従来の主観的な味覚評価だけでなく、客観的な視覚、触覚刺激時の脳血流データも併せて解析を行うことで、製品の最終的な嗜好性について予測可能かについて考察する。 具体的には提案者の立案した実験プロトコルに基づいて、近赤外光イメージング装置（NIRS: Shimadzu FOIRE-3000）を脳活動計測に用い、視覚および触覚刺激を認識しているときの脳活動を計測する。 方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 18~29歳男女34名を予定し、外部調査会社による募集を行う。NIRS測定に関する論文では1群20例程度の実施例が多いが、本研究では、ばらつきを踏まえ統計学的検定に必要な数を設定した。視覚、聴覚、嗅覚について障害がある場合、実験対象者とはしない。 用いる刺激は日常生活で触れるものであるが、不快感などが生じた場合には実験をすぐに中断する。実験には最大で2時間を要するが、実際の計測時間は50分以内である。実験参加にあたる謝礼は5,000円のAmazonギフトカード（交通費込み）とする。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 文学研究科心理学的研究室（022-795-6048） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」倫理審査委員会事務局（022-795-6003；art-syom@grp.tohoku.ac.jp）

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）